

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	インクルーシブ教室 白ゆり		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34人	(回答者数) 29人
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月28日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	グループレッスンでは、集団遊びのプログラム「みんなで遊ぼう」の活動を毎回取り入れ、運動・製作・音楽などを通して経験値を積みながら、他者との積極的なかかわりを促している。	子どものやりたい気持ちを大切に受け止め、達成感、充実感が得られるよう工夫している。他者としっかりコミュニケーションを取れるよう場を構成している。	子どもが目をはなせて飛びつく、新鮮な題材を取り入れる。
2	自由遊びや個別のやりたい遊びの時、支援者が適切に介入して、子ども同士がしっかりかかわれるように環境設定している。	支援者は、見守りながら、適切に、さりげなく、子ども同士が交流するよう促している。	やったことがない活動や新しい活動にもスムーズに入れるよう、支援者が、始めは一緒に行うなどし、だんだんと子ども同士で行えるよう適切に支援して、フェードアウトしていく。
3	マンツーマンの学習サポートで、宿題等、学習面での課題や、家で困っていることについて、対応できている。	子どもが学習に集中して取り組める環境を整えている。前向きに「やる気」を持って取り組めるよう声かけをし、促している。課題をテンポ良く提示している。	間違いの指摘ではなく、できたことをほめて伸ばす。本人や保護者にその時々での学習面での様子を聞いて臨機応変に支援を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、きょうだい向けのイベント等、保護者同士や他の家族との交流の機会が、スケジュールとして設定されていない。	保護者同士、また、きょうだい同士、送迎時に交流する姿はある。保護者会やイベント等を、通常の開所時間に開催することは、スケジュール的に検討が必要である。	スケジュール、体制など、開催日を設けられるよう、前向きに検討していきたい。
2	家族に対する研修の場が設けられていない。	外部からの研修のお知らせは、随時行っている。家族に対する研修を通常の開所時間に開催することは、スケジュール的に検討が必要である。	スケジュール、体制など、開催日を設けられるよう、前向きに検討していきたい。
3	地域との交流の機会が少ない。	日頃、公園等で交流する機会が持てている為、特に設けていなかった。	外出等で、交流の機会が持てた時には、その地域の人との交流を大切にしたい。